

エゾシカワーキンググループの経過報告・今後の予定

1. 令和 6 年度エゾシカ WG の開催概要

- ・第 1 回会議 令和 6 年 6 月 25 日（火）斜里町公民館ゆめホール知床
- ・第 2 回会議 令和 6 年 11 月 22 日（金）札幌市北農健保会館

2. 主な議事内容

第 2 回会議では、2024（R6）シカ年度エゾシカ実行計画の実施状況が報告され、エゾシカ対策の実施状況及びモニタリング結果を踏まえた議論を行った。また、令和 7 年度以降の知床岬地区におけるエゾシカ対策についても議論を行った。主な意見・指摘事項は以下のとおり。

■2024（R6）シカ年度実行計画の実施状況について

- ・植生モニタリング調査結果（速報）について
 - 植生回復程度を解析評価する手法については、従前からの手法に加えて他の評価手法も参考にしつつ、シカ密度の増減に対応した変化を示している種、ないし生態的グループ等が抽出できるように今年度のうちにできる範囲で試行整理を極力進める。
 - 回復目標の基準（原植生、保護柵内植生）や回復指標種、回復程度の評価について集中的に検討するために、本 WG の作業部会である植生指標検討部会を次年度に設置する。
 - 昆虫類、鳥類の調査手法や実施頻度についても、これまでの調査結果や他の調査手法も参考に次期計画改定に向けて見直し検討を行うこと。
- ・隣接地域における地域からの意見把握等について
 - 今期については、2 町と事前調整を行い、隣接地域のほぼ全てを狩猟に開放。今後も同様に進める方向で承認。

■2025（R7）シカ年度実行計画について

- ・主に新しい捕獲手法のための大型仕切柵の改修に向けた設計、自動撮影カメラを用いたエゾシカ季節移動の把握と植生期における密度推定、並びに春期捕獲を実施。以前より議論にあがっていた厳冬期ヘリ捕獲の再開については大型仕切柵改修後の R8 年度以降を目処に、大量捕獲の実効性と各種モニタリング調査結果も踏まえて改めて議論する。
- ・厳冬期ヘリ捕獲実施までの対策として、2024（R6）シカ年度内の R7 年 4 月～5 月に、知床岬地区において、低密度下での効率的な捕獲を実現するための手法（簡易囲い罠等）を試行しつつ、植生被害の抑止を図る。
- ・植生については、これまでの経緯も踏まえ回復目標並びに解析評価手法について、植生指標検討部会において議論を深めていく。
- ・知床岬以外の地区についても個体数調整に係る取組を継続実施することで承認。

■その他について

- ・知床世界自然遺産地域 気候変動に対する順応的管理戦略の計画策定について報告。
- ・工藤委員より知床連山高山帯における気象ステーション設置と高山生態系監視システム構築について提案あり。今後、関係実務者間で調整検討を図る。
- ・知床岬地区における携帯電話基地局整備に関する経緯概要等について報告。

3. 令和7年度エゾシカ WG に関する今後の予定

令和7年度は2回程度の開催を予定。

- ・第1回 WG：令和7年6月頃 斜里町
- ・第2回 WG：令和7年11～12月頃

以上